

スクラム

1月4日(水)第88号

発行：東京清掃労働組合墨田支部 企画・総務部
 東向島5-9-11墨田清掃事務所内 E-mail: seisousumida@juno.ocn.ne.jp



謹賀新年

年頭にあたって

執行委員長 遠田 寛樹



墨田支部組合員の皆さん、あけましておめでとうございます。限られた人員・機材のなかで安定的な住民サービスを提供するに努力に敬意を表します。今年も一年間、けがや事故のないよう安全作業の徹底をお願いします。

昨秋の16賞金確定闘争では三年連続となる月例給・一時金の引上げを勝ち取る事ができました。第五フロック幹事区である墨田区において開催した地連総決起集会への多くの組合員の結集、また家族署名などの大衆行動をを主力で取り組んだ成果だと考えています。

しかし都では、扶養手当の見直しや給付装の与給カットなど、厳しい妥結を余儀なくされました。公民較差があるにも関わらず「改定なし」とした東京都人事委員会の勧告は、職員に厳しい姿勢を見せている小池知

事の就任と無関係とは思えません。区への波及を防ぐ取り組みを強化する必要があると考えています。

区における29年度作業計画・人員交渉は現在デットロック状態であり越年協議となっております。積載基準の死守をはじめ、直営による新規事業の実施など、区民サービスと労働条件の向上にむけて当局を追及しています。

併せて、20年後、30年後の清掃事業のあり方、そして核となる直営の職務、そのための定数を具体化させ、新規採用を勝ち取るべく引き続き交渉を強化していきます。

暴走を続ける安倍政権との闘いも重要です。沖縄では米軍基地建設反対運動に對し無慈悲な弾圧が続き、また、戦闘状態もある南スーダンへの自衛隊PKO派遣に駆けつけ護衛の任務を付

与しました。「今こそ実行のとき」と戦争法の全面運用が始まり、自民党内悲願である改憲へむけて滑り出しています。

アベノミクスの破たんは明らかなのに、一方で年金医療、介護、労働法制の大改悪をもちろんでいます。

今年も我われ労働者にとっ

直営の職務と定数を具体化させ新規採用に繋げる

て厳しい状況が続くことになりそうです。だからこそ、べきとは、団結して闘い、この一点のみです。良質な公共サービスとしての清掃事業を確立し、自信と誇りを持って退職まで働くことのできる賞金・労働条件を勝ち取りましょう。

最後に、今年一年の皆さんご家族のご健勝を祈念いたしまして、年頭のあいさつとさせていただきます。よろしくお願いたします。

本年もよろしく
おねがいします

執行委員長

遠田 寛樹 (分室)

副執行委員長

森内 政行 (分室)

岡崎 広 (分室)

佐々木 勲 (本室)

書記長

斎藤 幸司 (分室)

書記次長

長妻 芳典 (分室)

執行委員

稲垣 晃 (分室)

高橋 昭久 (分室)

稲垣 英治 (本室)

渡邊 靖彦 (分室)

斎藤 修 (分室)

関根 猛 (分室)

都築 健太郎 (分室)

岸 勝也 (分室)

渡辺 陽之 (分室)

早瀬 敏夫 (本室)

会計監事

木村 明 (分室)

宍倉 靖浩 (分室)

